

2018年度 キャリア教育の検証 (全学の学年推移)

－ マイステップのリエゾンポートフォリオ「キャリア形成判定」のデータを活用した検証 －

FD委員会、IRセンター

1. 学年ごとの回答者数

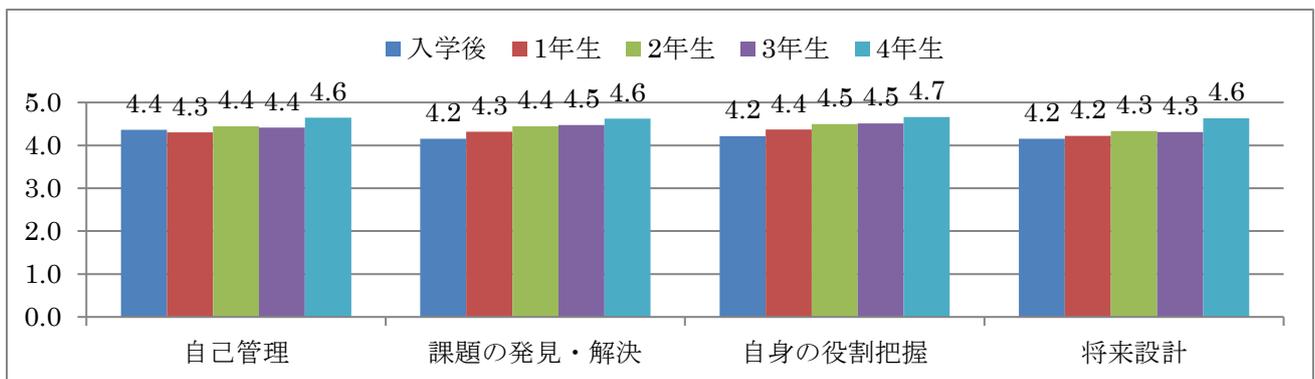
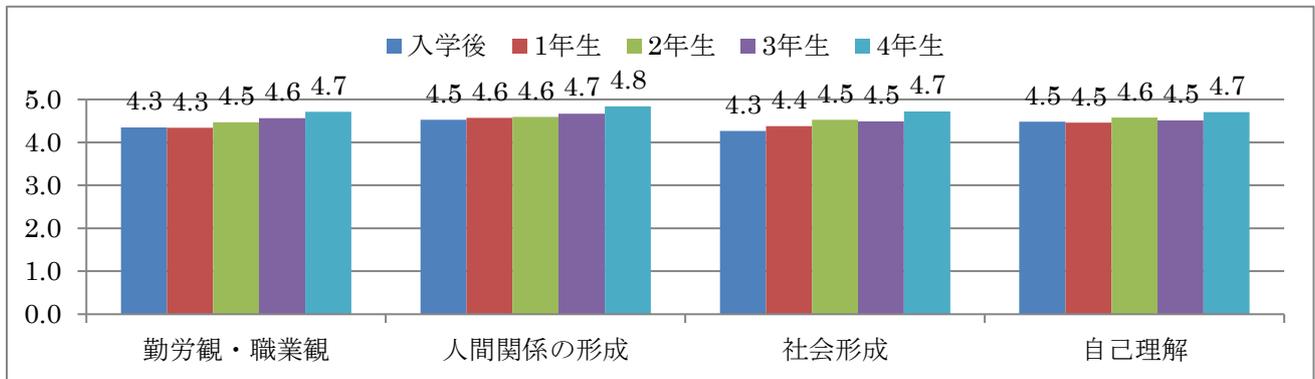
学年	回答者数	割合
入学後	90	5.9%
1年生	1284	84.9%
2年生	274	18.1%
3年生	229	15.4%
4年生	262	18.4%

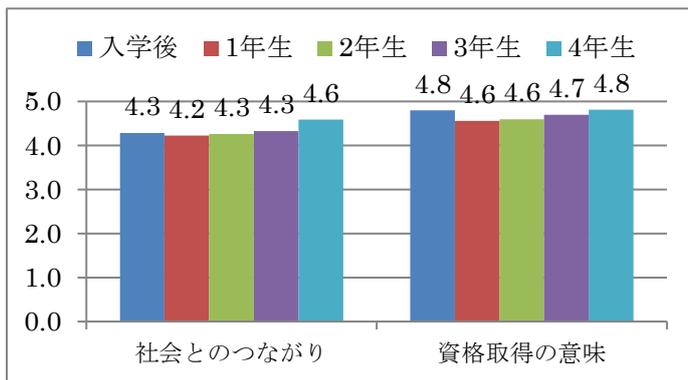
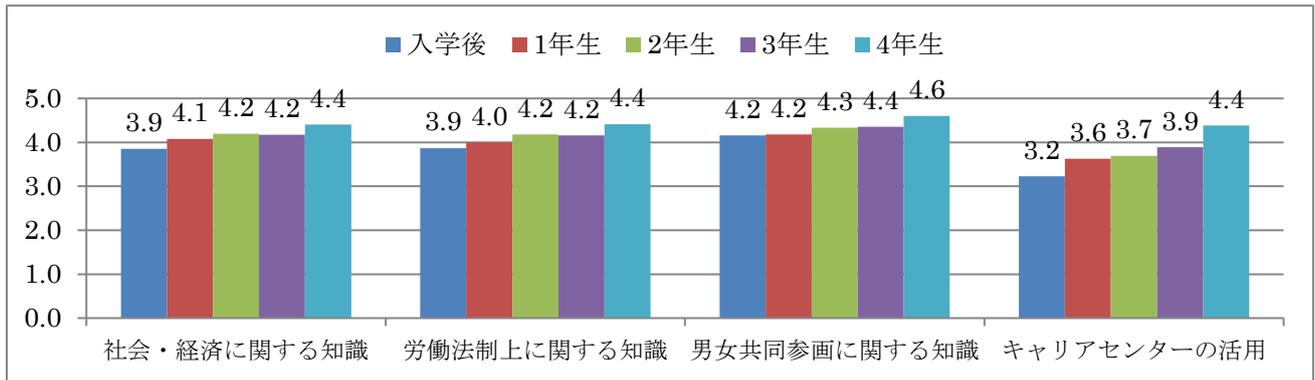
注1) 「割合」は、学年ごとの全学生数に対する回答者数の割合

注2) 「入学後」は1年生前期のデータ。1年生～4年生は後期のデータ。

2. 就業力の学年ごと推移

※選択肢は、「1. 全くそう思わない」～「6. 非常にそう思う」の6件法。





【まとめ】

いずれの項目も、学年が上がるごとに高くなっていることが示され、キャリア形成が着実に行われていることが示された。ただ、その中でも、次のような課題が見いだされた。

- ①1年生～3年生のキャリアセンターの活用が相対的に低かった。

2018年度 キャリア教育の検証(学科ごと)

－ マイステップのリエゾンポートフォリオ「キャリア形成判定」のデータを活用した検証 －

FD 委員会、IR センター

1. 学科ごとの回答者数

(1) 1年生

学科	人数	割合	学科	人数	割合
全学	1221	80.7%	教育学科初等教育専攻	227	93.4%
社会福祉学科	353	74.6%	教育学科中等教育専攻	41	91.1%
福祉行政学科	90	77.6%	保健看護学科	60	65.2%
福祉心理学科	121	87.7%	リハビリテーション学科作業療法専攻	38	88.4%
産業福祉マネジメント学科	95	79.8%	リハビリテーション学科理学療法専攻	46	97.9%
情報福祉マネジメント学科	100	85.5%	医療経営管理学科	50	62.5%

注1) %は、学年の全学生数における割合。 注2) 11月後半以降のデータ。

(2) 2年生から4年生(2年生以上の回答者数が少ないため、合算して集計した)

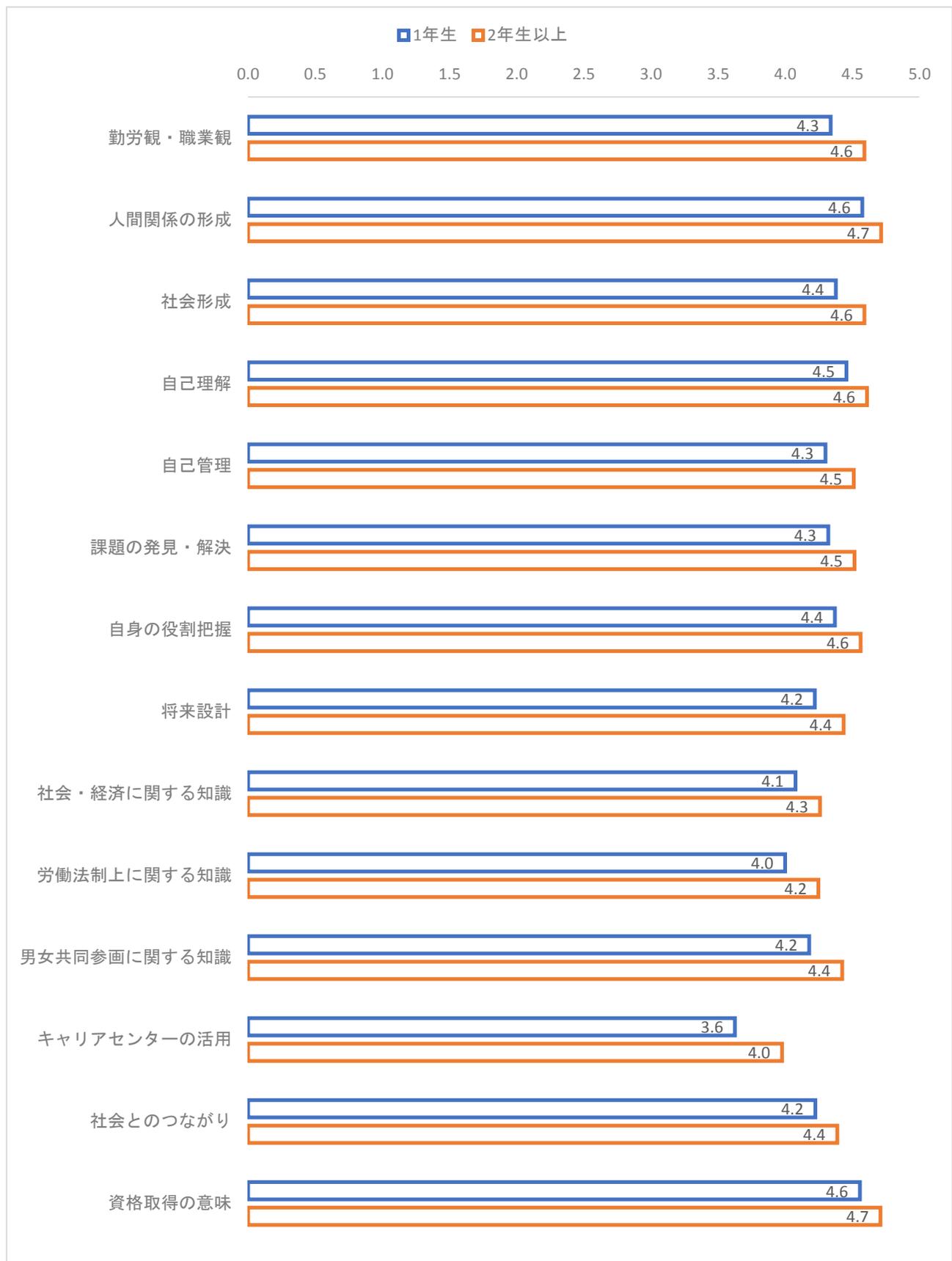
学科	人数	割合	学科	人数	割合
全学	732	16.6%	教育学科初等教育専攻	89	12.7%
社会福祉学科	78	5.8%	教育学科中等教育専攻	23	16.4%
福祉行政学科	40	11.4%	保健看護学科	101	42.1%
福祉心理学科	98	22.7%	リハビリテーション学科作業療法専攻	67	50.0%
産業福祉マネジメント学科	11	3.3%	リハビリテーション学科理学療法専攻	112	71.8%
情報福祉マネジメント学科	67	20.6%	医療経営管理学科	46	18.0%

注1) %は、学年の全学生数における割合。 注2) 11月後半以降のデータ。

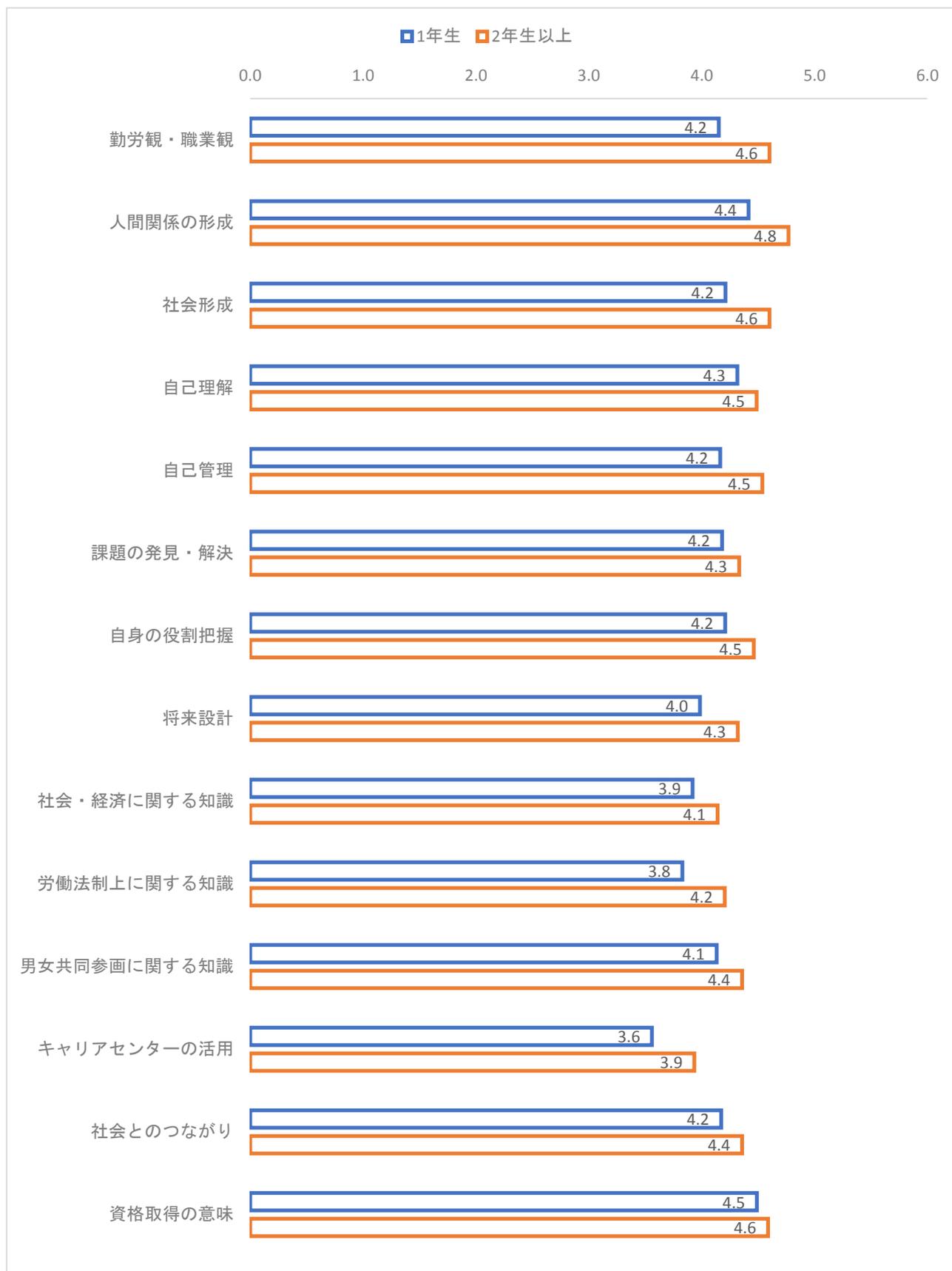
2. 集計方法

「全くそう思わない」から「非常にそう思う」までの6件法について、それぞれ1点から6点を割り当て、その平均点をもって小設問の得点とした。

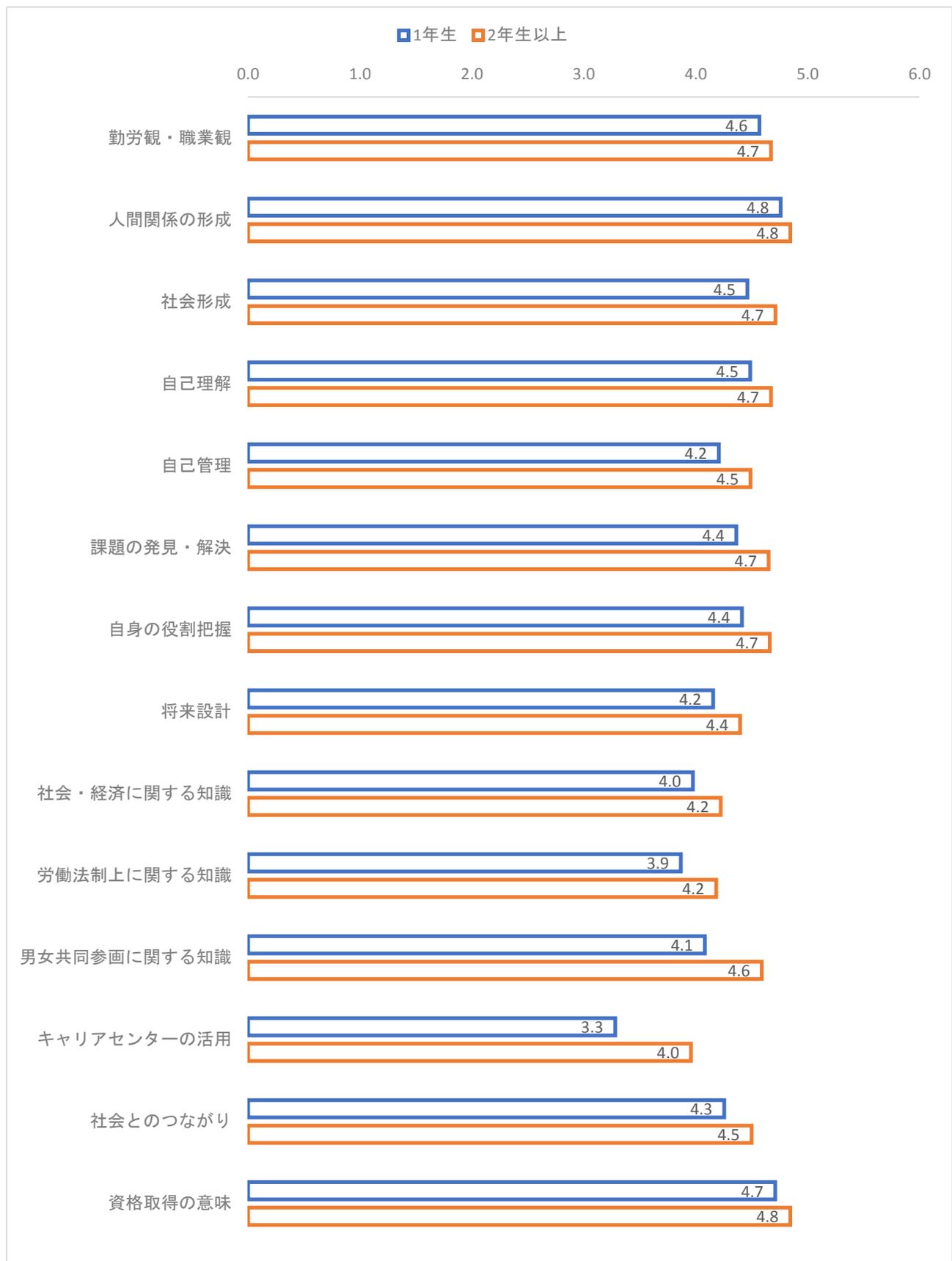
学科別の比較 [社会福祉学科]



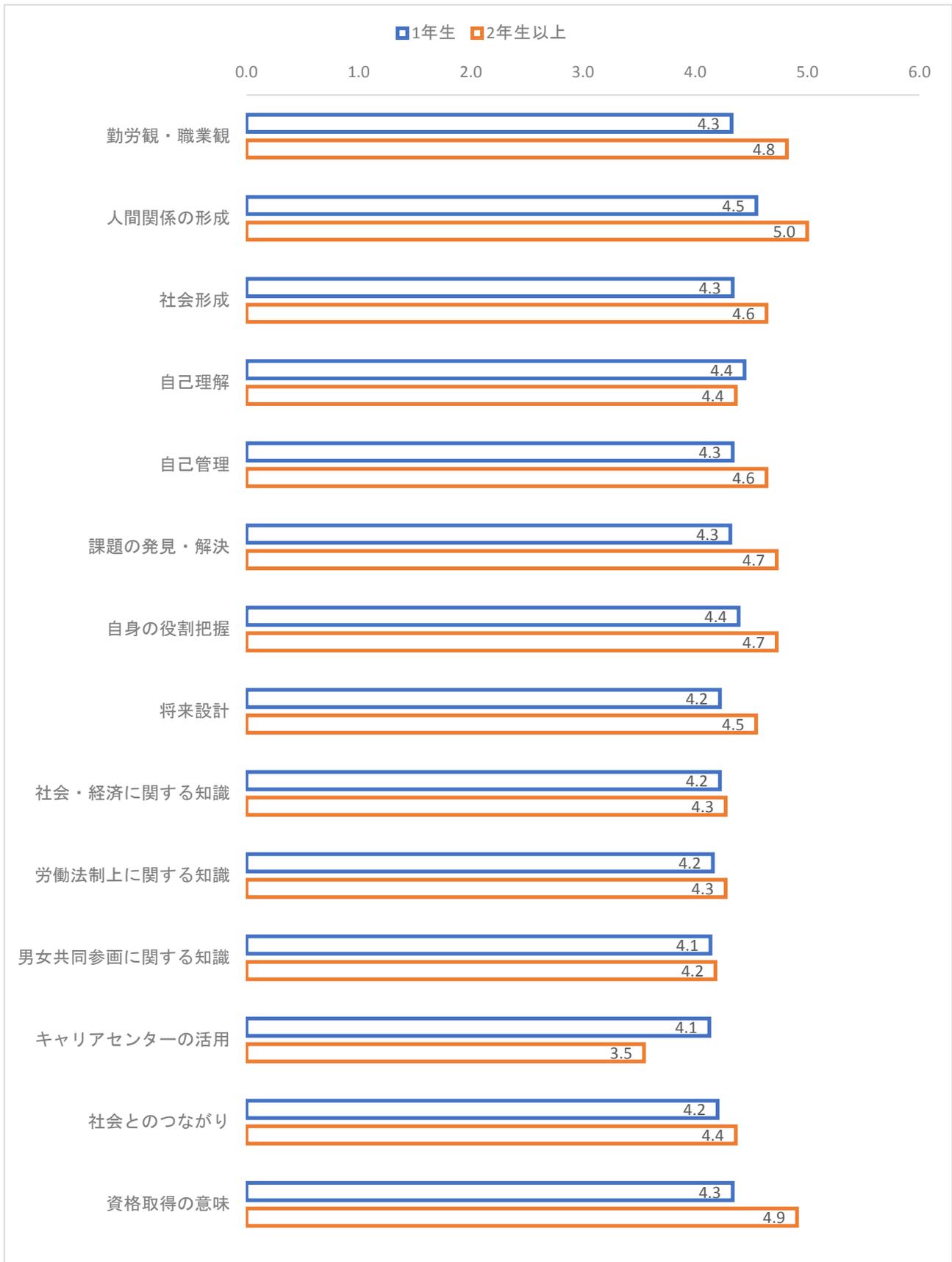
学科別の比較 【福祉行政学科】



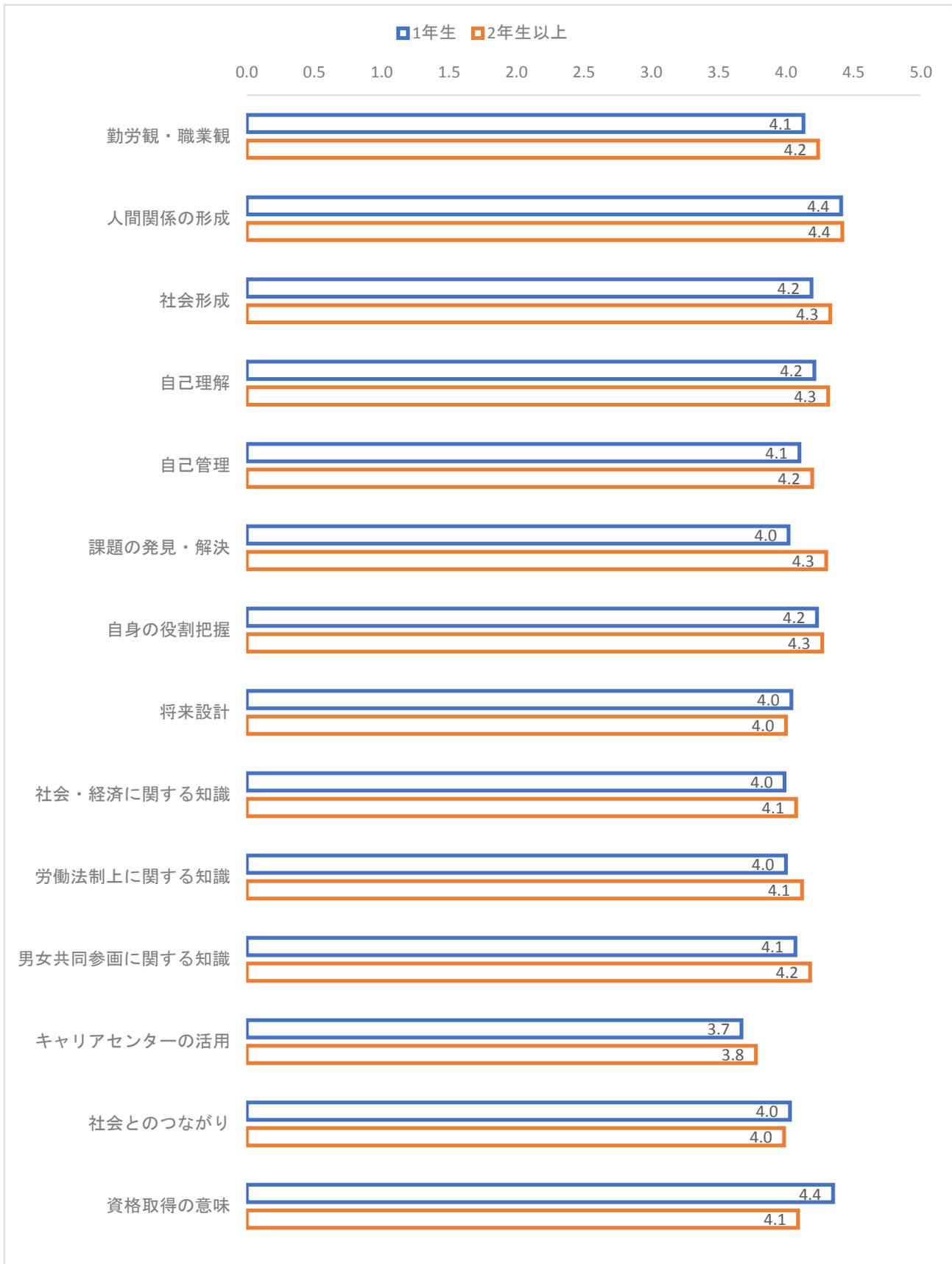
学科別の比較 【福祉心理学科】



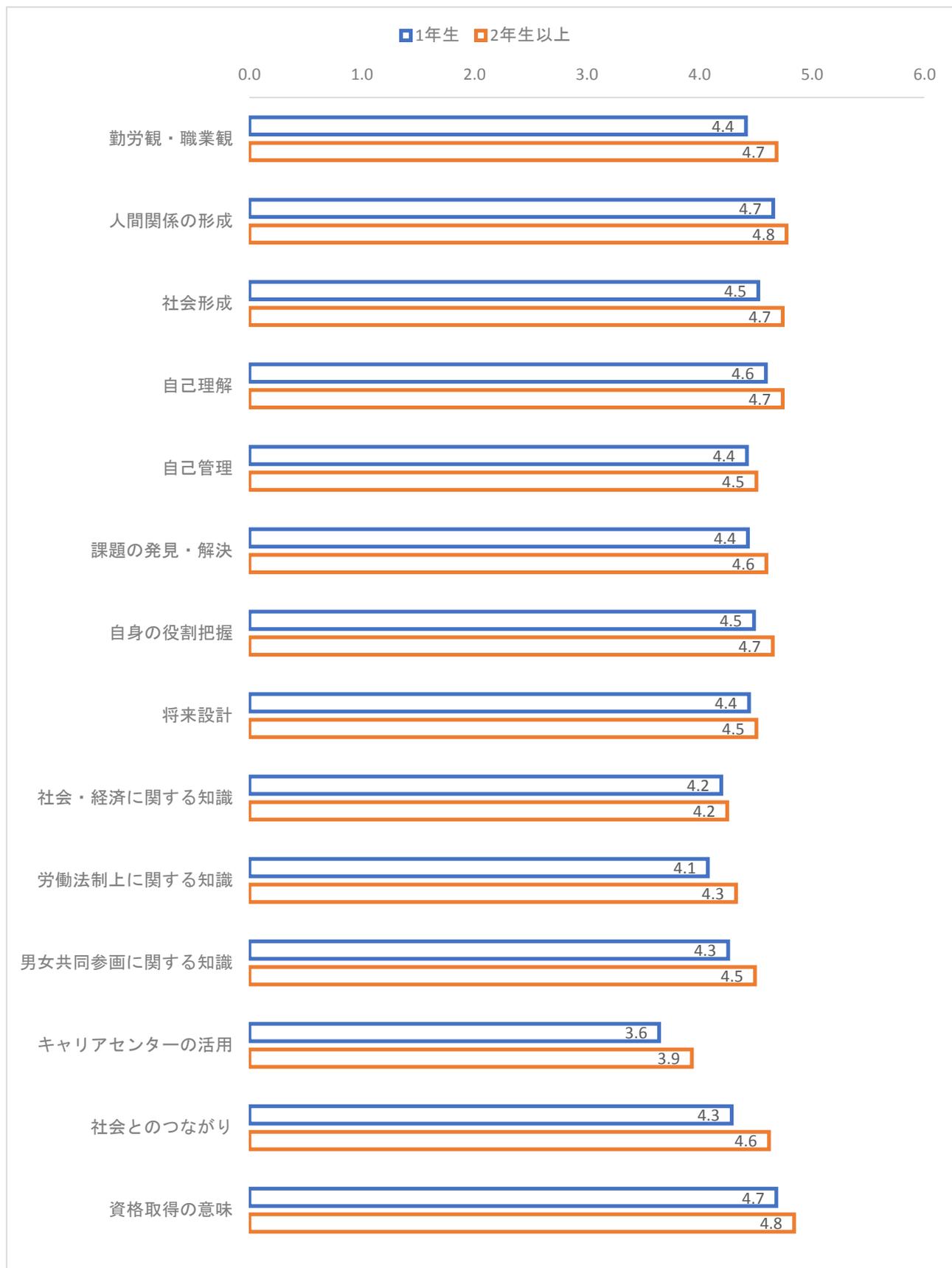
学科別の比較 [産業福祉マネジメント学科]



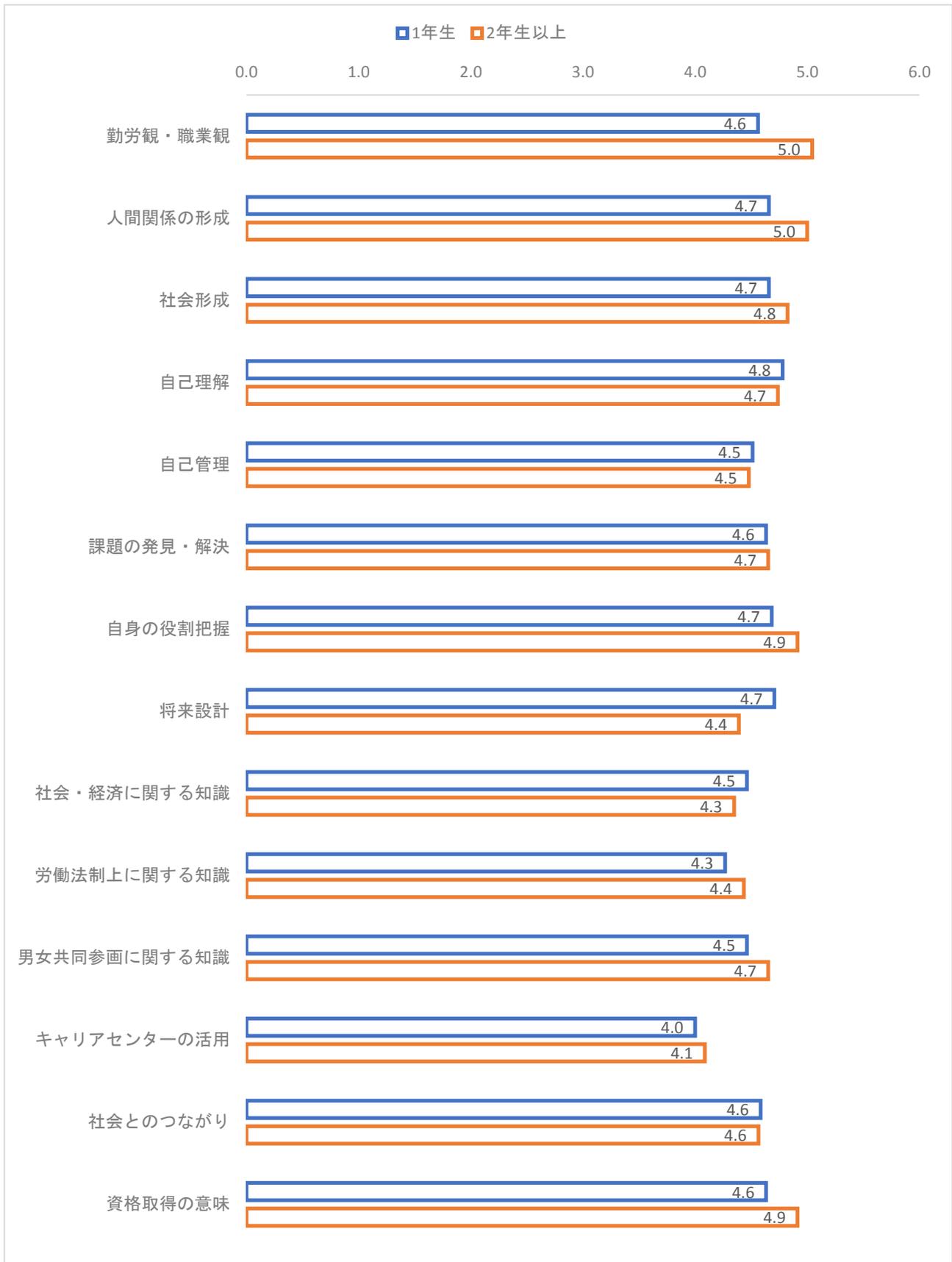
学科別の比較 【情報福祉マネジメント学科】



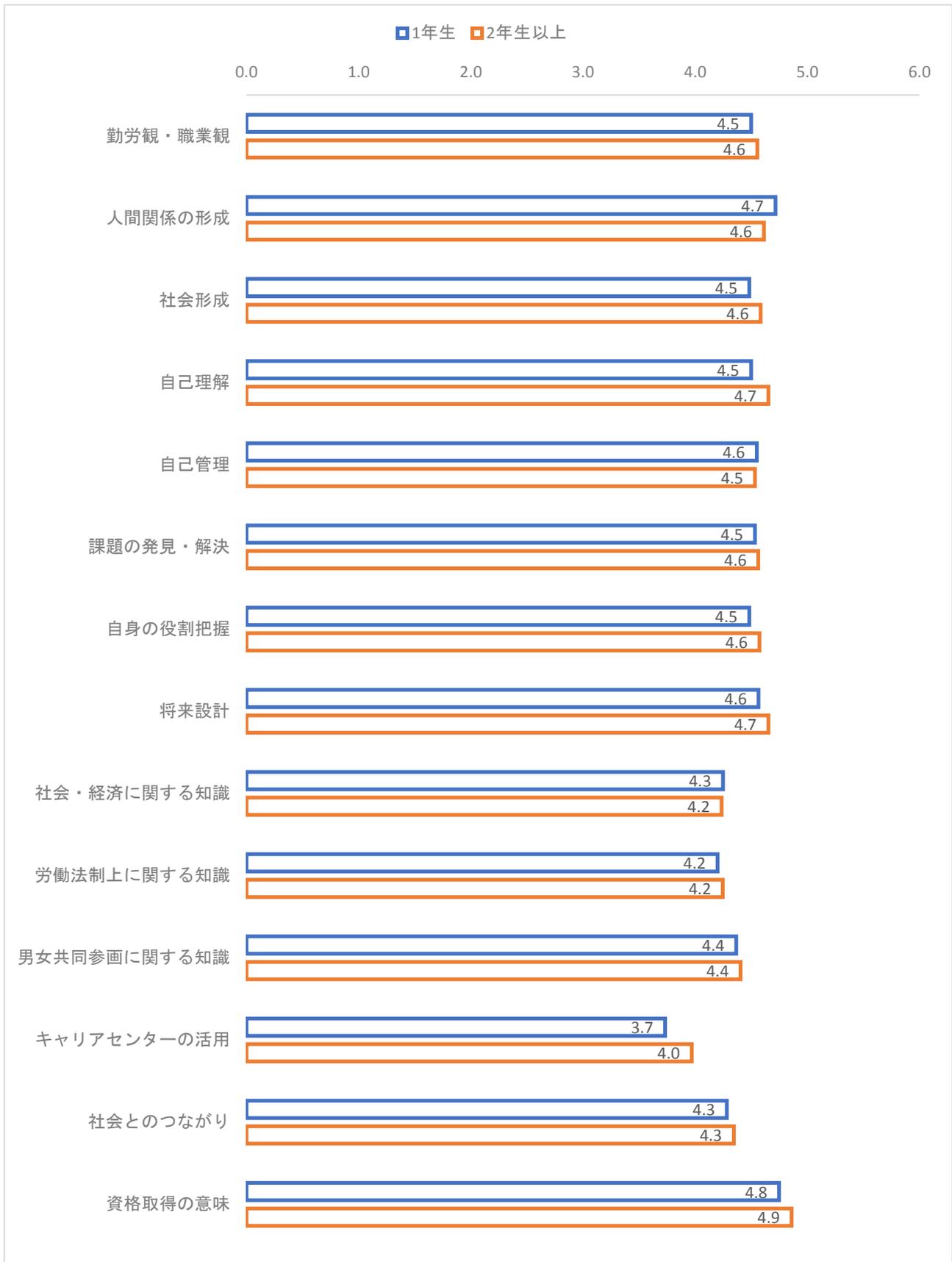
学科別の比較 [教育学科 初等]



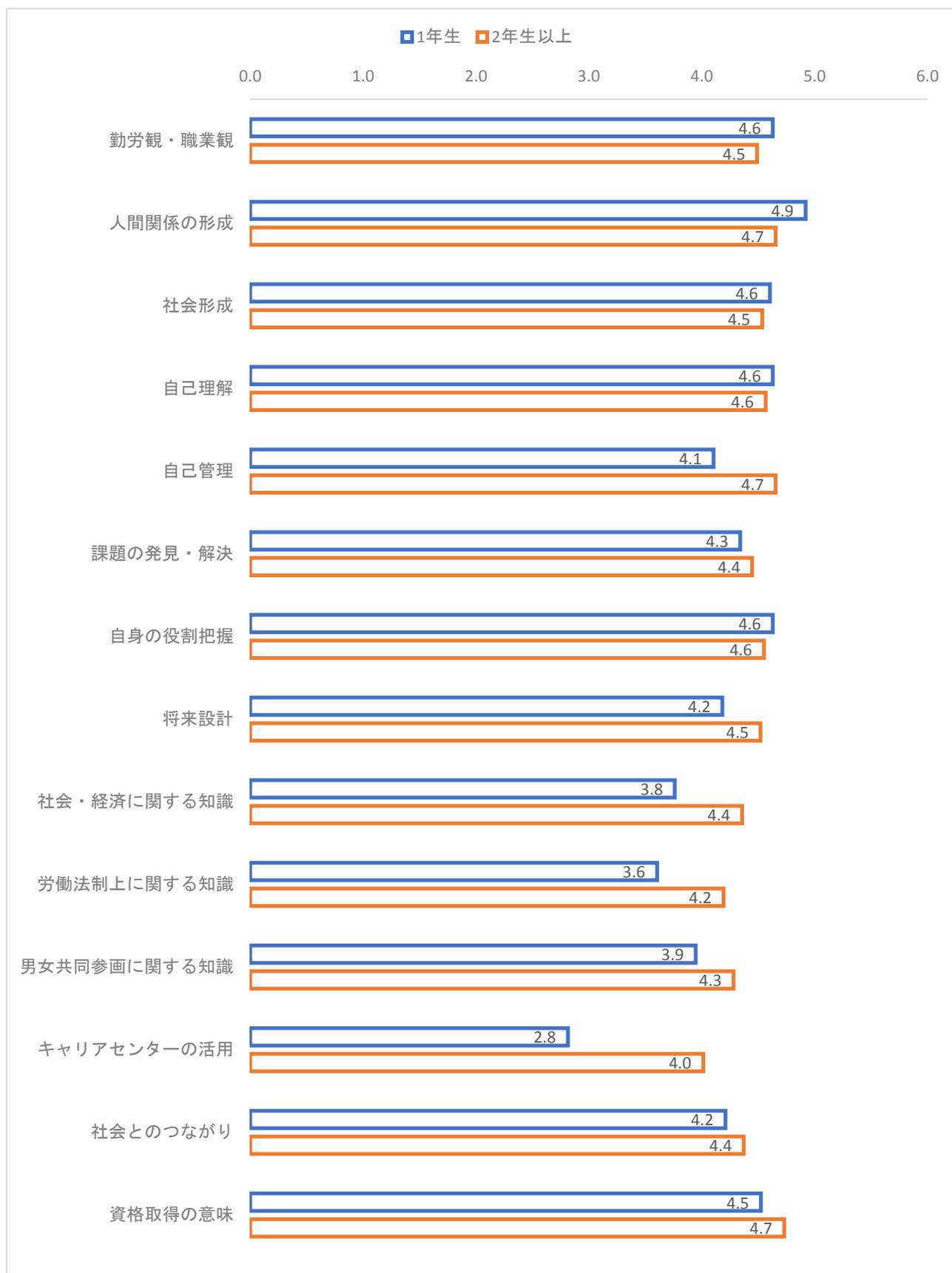
学科別の比較 [教育学科 中等]



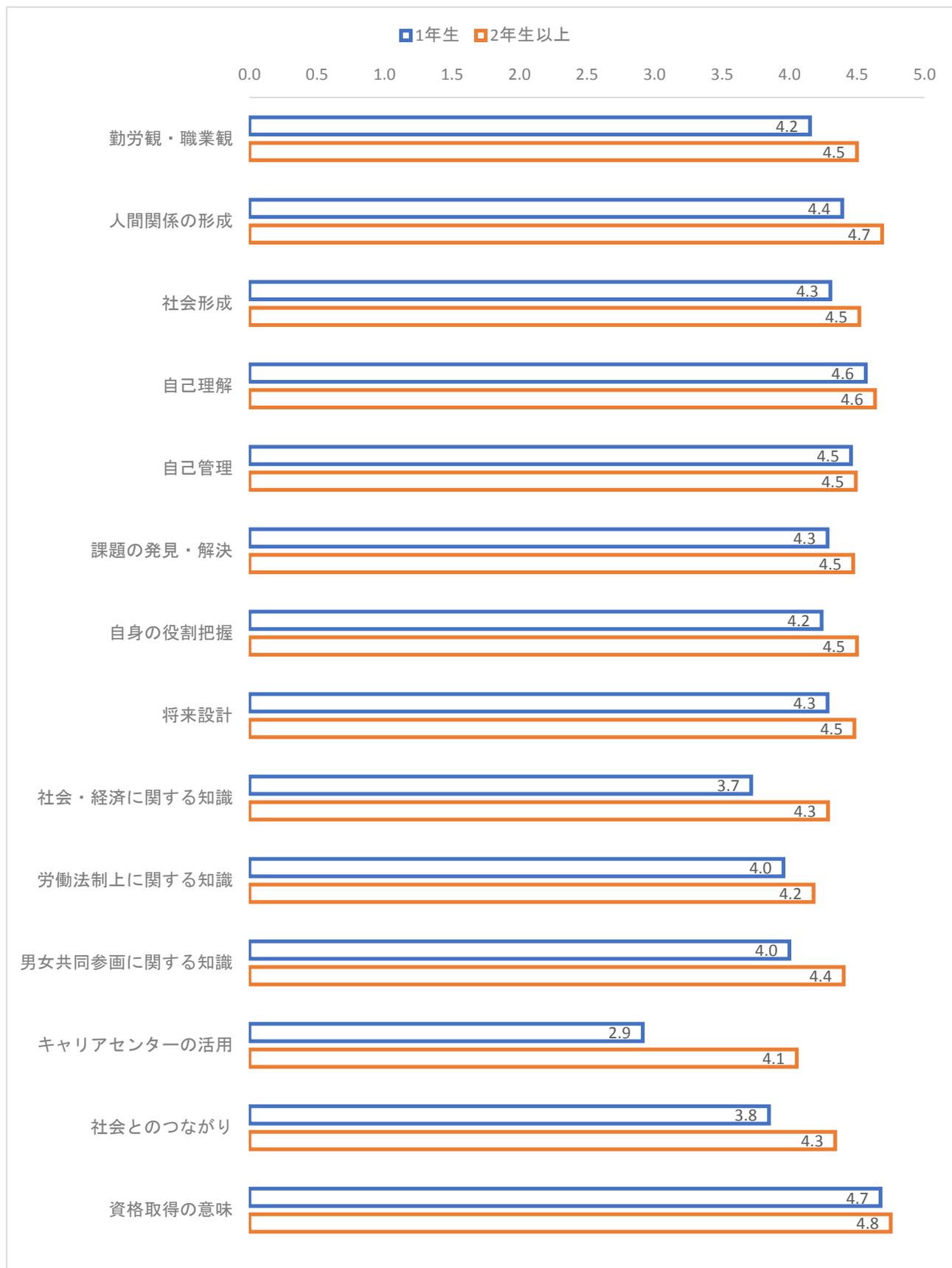
学科別の比較 【保険看護学科】



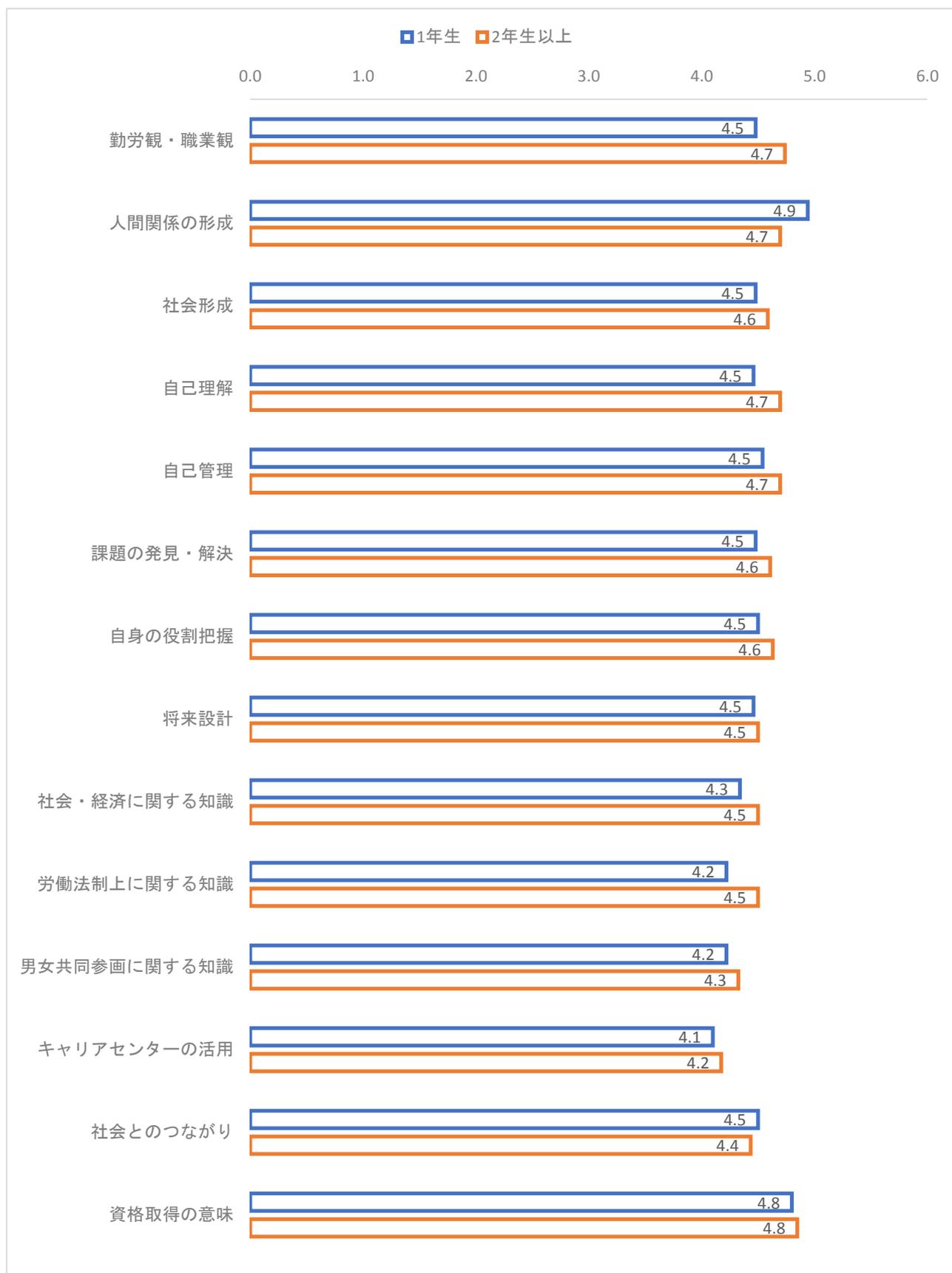
学科別の比較 [リハビリテーション学科 作業]



学科別の比較 [リハビリテーション学科 理学]



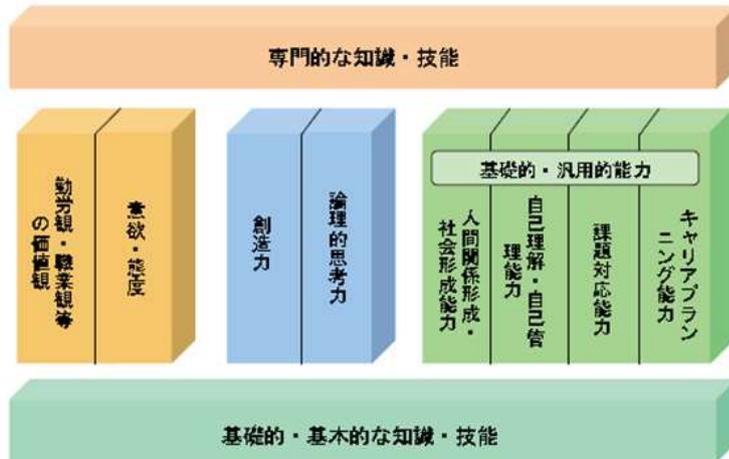
学科別の比較 【医療経営管理学科】



【参考】 キャリア形成判定について

マイステップ「キャリア形成判定」は、文部科学省のキャリア教育のとらえ方に基づいている。

「社会的・職業的自立、社会・職業への円滑な移行に必要な力」の要素



● キャリア教育で身に付ける知識・能力

- 勤労観・職業観
- 今後の将来の設計
- 社会や経済の仕組み、消費生活の安定・向上に関する知識の獲得・修得
- 労働者としての権利・義務等、労働法制上の知識の獲得・修得
- インターンシップについての理解・活用
- 資格取得・就職対策等
- 企業関係者、OB、OG 等の講演等への参加
- キャリアに関して身につけるべき知識や能力の到達度の評価
- 女性の多様なキャリアを意識したもの等、男女共同参画の視点を踏まえたキャリア形成